

NOH no KAI

セッション杉並 能の会

能 高砂 狂言 萩大名



杉並区で、
能と狂言を見よう。

令和5年 9月2日(土) 14時開演

会場 セッション杉並ホール 

地下鉄丸ノ内線 東高円寺駅 徒歩5分

新高円寺駅 徒歩7分

JR中央・総武線 高円寺駅 徒歩16分

都営/京王バス 阿佐ヶ谷⇨渋谷 セッション杉並前 徒歩2分

関東バス 中野⇨五日市営業所・吉祥寺 杉並車庫前 徒歩5分

関東/京王バス 永福町⇨高円寺 新高円寺駅 徒歩7分



番組

見どころ紹介

仕舞

田村 村キリ
杜若 若キリ

地謡

中森 貫太
観世 喜正
鈴木 啓吾
桑田 貴志
石井 寛人
金子 仁智翔

永島 充

狂言 萩大名 (大蔵流)

シテ 大名 山本東次郎
アド 太郎冠者 山本凜太郎
アド 庭主 山本 則秀

能 高砂 (観世流)

シテ 尉 / 住吉明神 永島 充
ツレ 姥 奥川 恒成
ワキ 神主友成 館田 善博
アイ 当浦の者 山本 則重

地謡

八反田 智子
曾和 伊喜夫
安福 光雄
大川 典良
奥川 恒治
桑田 貴志
観世 喜正
中森 貫太
遠藤 喜久
鈴木 啓吾
小島 英明
坂 真太郎

能〈高砂〉あらすじ

九州阿蘇宮の神主・友成が、播州(兵庫県)高砂の浦を訪れます。そこへ老夫婦が現れ、高砂と住吉の相生の夫婦の松のいわれや、相生の松が『万葉集』と『古今和歌集』に例えられることを語り、夫婦が共に歳を重ねるめでたさ、松のめでたさをたたえます。夕暮れになり、住吉(大阪府)で待つと告げ、老人は沖へ、姥は松の影に消えてしまいました。友成が住吉に船出すると、住吉明神が現れ、平和と繁栄を祈念し舞を舞います。

狂言〈萩大名〉あらすじ

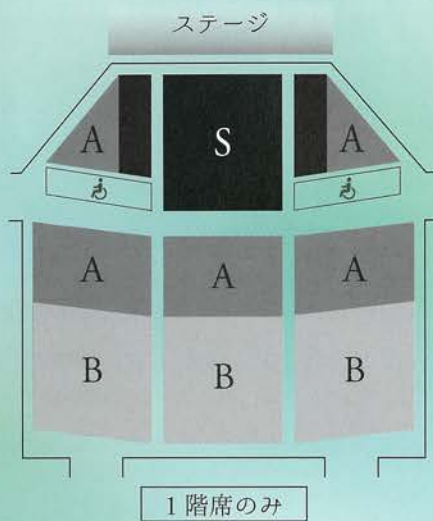
田舎大名は太郎冠者の案内で、とある庭園の萩の花見に出かけます。庭園の主から和歌を求められると予測した太郎冠者は、大名に前もって和歌を教えようとはしますが、大名はどうしても覚えられません。そこで太郎冠者は一句一句合図を決め、大名が和歌を詠じられるようにしますが…。重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)で杉並の名誉区民でもある山本東次郎がシテの大名を演じます。



前回の舞台の様子 能〈葵上〉
(2019年12月 能と狂言を楽しむ会 in SUGINAMI)

チケット料金

- 指定 S 席 6,000 円
学生 5,000 円
- 指定 A 席 5,000 円
学生 4,000 円
- 自由 B 席 4,000 円
学生 3,000 円



チケット予約

矢来能楽堂

電話 03-3268-7311 FAX 03-5261-2980

mail yarai@eos.ocn.ne.jp HP <http://yarai-nohgakudo.com>



チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード 指定席: 519987
自由席: 519929

公演についての問合せ

電話 03-6383-2744 mail nougakukanshou@gmail.com

観世流能楽師 永島充ホームページ <https://noh-nagashimamitsuru.jp>



MAP



永島 充 (ながしま みつる)

能楽師。シテ方観世流九草会所属。
1968年7月長野県信州新町(現、長野市)生まれ。1991年3月観世喜之(観世流九草会)に入門。1997年9月観世流準職分に認定され能楽師として独立。2004年10月能楽師の登竜門と言われる能〈道成寺〉を勤める。2017年9月重要無形文化財総合指定保持者認定。2019年12月「能と狂言を楽しむ会 in SUGINAMI(於セッション杉並ホール)」を開催、能〈葵上〉を勤める。シテ方観世流九草会の能楽師として長年演能活動に携わり、杉並区、新宿区、立川市、長野市、札幌市などで謡曲の指導もを行っている。1997年より杉並区に在住。地元の方々に能楽を知ってもらいたいと、セッション杉並ホールで能の会を定期的に開催している。

